# 戸田市教育大綱

## ■はじめに

　私は市長就任以来、教育に重点を置き市政を執り行ってまいりました。
　志をもって社会を変革する力、夢や目標を成し遂げる力、新たな価値を創造する力は、不断の学びによって養われます。
　生きることとは学ぶことであり、学びによって人は輝き、人間の可能性は無限に広がります。
　令和の新時代において、人口減少・少子高齢化、デジタル化などの技術革新、グローバル化の進展や新型コロナウイルス感染症をきっかけとした社会構造の変革など、世の中はめまぐるしく変化しています。
　また、家庭環境の多様化、地域コミュニティの希薄化や外国人市民の増加など、子どもたちを取り巻く地域の環境も大きく変化しています。
　先を見通すことが極めて困難なこうした時代の中で、未来に向けて子どもたちが夢や希望を持ち人生を切り拓いていくためには、「知・徳・体の調和がとれた基礎的なカ」をバランス良く養うことが重要です。また、主体的に社会と関わり、超スマート社会を生き抜くための「非認知能力など未来を創るカ」を育むことも重要です。
　一方、人生１００年時代が到来したいま、老若男女だれもが文化、芸術、スポーツ活動などに親しむことで自分の可能性を開花させることができるとともに、学ぶ喜びをいつでも感じられるまちづくりが求められています。
　こうした世の中の変化や社会のニーズに的確に対応できるよう、このたび戸田市教育大綱を新たに策定いたしました。
　新たな大綱では、基本方針として『共に「つくり　まもり　つなぐ」教育のまち　戸田』を掲げ、３つの柱に基づく６つの重点目標を定めました。

## ■基本方針の実現に向けて

　この戸田市教育大綱は、市政運営の最も基本となる計画である「戸田市第５次総合振興計画」の将来都市像「『このまちで良かった』みんな輝く　未来共創のまち　とだ」及び、基本目標Ⅰ「子どもが健やかに育ち、いきいきと輝けるまち」基本目標Ⅱ「創造性や豊かな心を育むまち」を受けたものとなっています。
　また、このたび策定した「第４次戸田市教育振興計画」では、これまで数多くの成果を上げてきた戸田の教育改革を踏まえ、「生き生きと　共に育む　教育のまち　戸田」の基本理念のもと、今後５年間の教育改革の方向性を明確にし、EBPM（根拠に基づく政策立案）の核となる検証可能性を高め、市民をはじめとする関係者にも理解され信頼を得ることを目標に掲げています。
　今後は、多様性と包摂の視点のもとで SDGs（持続可能な開発目標）の精神である「誰一人取り残さない」社会の実現と ESD（持続可能な開発のための教育）に取り組むことを通じて、とだっ子と全ての市民一人ひとりの人生が輝きに満ちあふれたものとなるよう、市全体でこの大綱に取り組みます。
　そして、市長部局と教育委員会が認識を共有しながら、引き続き、学校・家庭・地域が相互に連携してあゆみ、教育日本一を目指してまいります。

戸田市長　菅原文仁

## 基本方針

**共に「つくり　まもり　つなぐ」教育のまち　戸田**

## ３つの柱・６つの重点目標

### 柱①　つくり

■ふるさと戸田を愛し社会に貢献する人財をつくります
　我が国とふるさと戸田の伝統や文化、自然を大切にするとともに、社会生活を営むうえで必要な礼節、道徳など公共の精神を育み社会に貢献する人財を育てます。

■未来を切り拓く力を発揮できる人財をつくります
　戸田市教育政策シンクタンクを中心とした EBPM の推進や ICT の活用により個別最適な学びを実現するとともに、「非認知能力」の育成を促すことで未来を生き抜くとだっ子を育てます。

### 柱②　まもり

■誰もが教育を受ける機会をまもります
　不登校やいじめ対策等に対する教育相談体制を充実するとともに、障がいの有無、国籍、経済的な理由等にかかわらず学びを保障し、誰一人取り残さない社会を目指します。

■安心・安全で質の高い教育環境をまもります
　学校の改築、体育館の空調整備を計画的に進めるとともに、全小学校区の防犯カメラや道路の安全対策等により安心・安全な教育環境を整備します。

### 柱③　つなぐ

■誕生から中学校卒業まで子育て教育環境をつなぎます
　市長部局と教育委員会の更なる情報共有と連携により、乳幼児から小・中学校に至るまでの切れ目のない教育を実現するとともに、子育て支援や虐待防止など包括的な支援を行います。

■学校・家庭・地域など多様な主体を相互につなぎます
　多様な主体との連携により社会に開かれた教育を推進するとともに、生涯学習の充実、家庭教育の啓発やコミュニティスクールの活性化により地域教育力を高めます。